

2026.2.27(金)

19:00-20:30

井波社会福祉センター 大ホール

変わりゆくまちの動きをお伝えします
どなたでもご参加いただけますので、
お気軽にお越しください

内 容

まちづくりが進みます

「井波ビジョン2040」を具現化するために、「プラットフォーム会議」(仮称)が開催され、マスタープランの策定を目指します

一緒に考えましょう

会議の内容、検討の進め方などをご報告し、参加された皆さんのご意見をいただきます

い な み 講

知る。考える。話す。

地域の方々の声をお聞かせください
一緒に井波の未来について、考えてみませんか



井波地域づくり協議会

南砺市山見1739-2 ショッピングセンターアスモ2階
電話：0763-82-3744 E-mail：kyougikai@inami.net



<https://inami.net>



結ネット



2月のイベント

2 / 金
6

Let's 筆文字アート!

主催/申込：井波子育て支援センター 0763-82-7812

「一年の計は元旦にあり」
新年を新たな気持ちで前向きに迎えられよう
今の自分の気持ちを文字に表してみましょう

10:00 ~ 11:00

講師 筆文字アートのSakuranさん

参加協力 Community Cafe 輪っか

会場／井波子育て支援センター

参加申し込みは、井波子育て支援センターきらきら まで

2 / 土
7

縫製屋soleilさんに聞いてみよう

縫製屋ソレイユさんに、洋服のお直しのことをアレコレ聞いてみよう！
井波の暮らしがちょっと豊かになる方法を一緒に考えてみませんか？

13:30 ~ 15:30

主催：Community Cafe 輪っか（代表：遠藤）



会場／DOMAから（南砺市山下92）

参加費：100円（お子様無料）

参加予約はQRコードより

2 / 水
18

福祉研修会(2)

無意識の思い込みや偏見をなくしましょう
昔は当たり前だったことが、今は通用しないことに気づき、暮らしやすい
地域をめざしましょう。

19:00 ~ 20:30

講演 これからのコミュニケーションを学ぼう
～ジェンダーギャップのない、まちづくり～



会場／井波社会福祉センター

あなたの一歩を踏み出そう

参加申込はQRコードより

2 / 金
27

いなみ講 知る。考える。話す。

地域の方々の声をお聞かせください
一緒に井波の未来について、考えてみませんか

19:00 ~ 20:30

「井波ビジョン2040」の実現に向け「プラットフォーム会議」（仮称）が始まり
ビジョンを具現化するマスタープランが策定されます。
会議の進捗をご報告し、これからの井波の姿を考えてます。

会場／井波社会福祉センター

あなたのまち・井波の未来について知り、考え、話しましょう



井波地域づくり協議会



0763-82-3744

南砺市山見1739-2

ショッピングセンターアスモ2階



WEBページ
「いなみ時間」
リニューアル

<https://inami.net>

地域と関わるイベントを企画しています

- ・太子伝会参拝
- ・かぶら寿司作り
- ・里芋掘りなど



community cafe 輪っか です！

一緒に楽しむママさんを
募集しています！



あなたのヤル気を
応援します！



みんなでゆったりお話したり
料理教室を開催したり
困り事も楽しく解決できれば
良いなと思っています



community cafe 輪っか
井波地域づくり協議会

お問い合わせは➡ E-mail:wacca202404@gmail.com

学校だより

いなみっ子

令和8年1月23日
南砺市立井波小学校
1月号 第374号

井波小学校 HP アドレス
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

題字 1年 田中 煌太郎さん

(題字は今年度県書き初め大会出場児童)

何のために

校長 中町 寿子

昨年10月、瀬木直樹映画監督による「映画づくりはまちづくり・ひとづくり」と題した講演を拝聴しました。地域の現状を見つめ、地元のニーズを丁寧にすくい取りながら映画を制作し、完成した作品を多くの人に届けていく——そこまでが映画づくりのゴールだと、私たちはつい考えがちです。しかし瀬木監督は、映画が公開された「その後」こそが大切であり、映画によって高まった地域の魅力や人々の思いを、どのように生かしていくかは、その町に暮らす人々次第なのだと語られました。講演の中で映画の一部を拝見しましたが、思わずその土地を訪れてみたくなるような、温かな愛着の生まれる作品でした。そして、映画づくりに携わった地域の方々が、その制作や公開を契機として、映画の内容を生かした地域の活性化に力強く取り組んでおられることも紹介されました。地域の方々が元々もっていた誇りや愛情を呼び覚まし、新たな行動へとつなげていく——そこに瀬木監督の取組の魅力を感じました。瀬木監督は、「何のために映画をつくるのか」という問いを、終始明確にもっておられたのです。



「何のために」。この問いは、何かを進めていくときに、自分の進むべき方向をはっきりと示してくれます。それは、大人にとっても子供にとっても同じです。例えば、3月には卒業証書授与式を行います。この行事は「何のために」行うのでしょうか。儀式としての意味や、卒業生一人一人の成長を祝う場であることは言うまでもありません。それと同時に、在校生にとってどのような学びや気付きのある行事なのかを丁寧に捉えることも大切です。

本校では、全ての子供たちが自分自身の成長を実感できる機会となるよう、教職員全員がこの行事のねらいを共有しました。目的を理解して取り組むことは当たり前のことではありますが、改めて肝に銘じておきたいと考えています。

一方で、「自分のなすべきこと」を見失わずに信じ、歩み続けることは決して容易ではありません。始業式では、6年生の児童が、6年間積み重ねてきたスポーツへの思いや取組について語ってくれました。苦しい時期を乗り越えながら、続けてきたことの意味や価値を、自分の言葉で堂々と伝える姿に、私は心が揺さぶられました。

改めて、私自身も考えています。どこに向かって、何のために、どのように進んでいくのか。私のなすべきことは、井波の子供たち一人一人の成長を、精一杯支えていくことです。「何のために」という問いを常に自らに投げかけながら、これからも子供たちを見守り、学校運営に努めてまいります。



〈始業式から〉

2～3月の主な予定

2月

- 2日(月) 集団登校
- 3日(火) 半日入学 入学説明会
- 6日(金) 校内研修会
 - ・5年2組以外の学級は給食後13:10下校
 - ・5年2組は14:15下校
- 18日(水) 校外児童会 5限後集団下校
- 21日(土) 学習参観 スポ少等PRミーティング 学年懇談会
- 24日(火) 振替休業日
- 27日(金) 5限後下校

3月

- 1日(日) PTA親子で通学路を歩こう
- 2日(月) ~5日(木) 5限後下校
- 6日(金) 卒業おめでとう集会
- 17日(火) 卒業証書授与式
- 23日(月) 集団登校 給食終了 5限後下校
- 24日(火) 集団登校 修了式
- 25日(水) 学年末休業開始
- ※令和8年度1学期始業式は4月8日(水)、入学式は4月9日(木)です。

給食のパワー

給食主任 荒木 典子

給食の時間が近付くとカタカタと小さな音を立てて、給食のワゴン車が廊下を通っていきます。子供たちにとって給食の時間は学校に来る楽しみの一つです。登校すると、今日の献立をチェックして「よし、今日の給食を楽しみにしてがんばろう。」と思っている子供もいます。4限が終わるとすぐに「いい匂いだな。」「今日は唐揚げだよ。」「やったあ。」と子供たちもそわそわし始めます。

「いただきます」をして給食を食べ始めると、「おいしいね。」「この食材は何だろう。」と自然と会話が弾み、友達とおいしさを共有したり食材への興味をもったりする姿も見られます。子供たちは、給食を通して、友達と交流し、気付くことがあるようです。

給食委員会では、今年度の初めに栄養教諭から栄養バランスや体格に応じた量、地域の食材を使うこと、見た目等様々なことから給食の献立が考えられていることを聞きました。委員の子供たちは、「こんなに多くのことを考えて作られているとは知らなかった」「みんなに知ってもらいたい」と感想をもちました。そして話し合った結果、今年度の活動の目当てを「給食の大切さを知り、給食の時間を楽しみにしてもらえようようにしよう」と決めました。

2学期には、子供たちが自分の食べるデザートを選ぶ「デザートを選ぼう給食」を企画しました。「デザートを選ぶようにしたら盛り上がるのではないか」「みんなが好きなものにしたら楽しみにしてもらえのではないかと、全校の人たちにもっと給食を楽しんでもらうためには、どうしたらよいかを考え、準備を進めました。

3学期は、学校給食週間を通して感謝を伝える活動に取り組んでいます。子供たちが、給食に携わる方や食材に感謝し給食への関心をさらに高められるよう取り組んでいきたいと考えています。



元気いっぱい井波っ子



3年「書き初め大会」

3学年主任 齋藤 雅弘

4月から書写の時間に毛筆を使った学習に取り組んでいます。ほとんどの子供たちが筆を持つのは初めてで、用具の準備や片付け、書くときの姿勢や筆の持ち方、筆使い等を一つ一つ覚えていきました。

そして、12月からは大きなだるま筆に持ち替え、書き初め大会に向けて練習を始めました。課題は、「うめの花」です。

3学期の始業式の後に行われた書き初め大会で、子供たちはこれまでの学習や冬休み中の練習の成果を発揮し、自信をもって作品を書き上げていました。



6年 体育科「走り高跳び」

6学年主任 上野 琢磨

体育科で「走り高跳び」の学習を行いました。この学習では、一人一人が自分に合った目標に向かって活動するため、始めに目標記録を計算しました。「身長×0.5-50m 走のタイム×10+110~130」で、個人の運動能力に適した目標記録を算出しました。

その後の練習では、5歩で助走することや踏み切るときは体を一直線にすること、振り上げ足を伸ばすこと等を意識して取り組みました。

子供たちは「意識するところがたくさんあるけど、上手に跳べるようになってきた」「5年生の頃より10cm高く跳べた」など、活動を通して技術の高まりを実感していました。

また、走り高跳びは西能スポーツ賞の規定種目の一つになっており、男子115cmを4人、女子110cmを2人が突破しました。

3月に授賞式を行う予定になっています。





井波彫刻、米国7都市で巡回展

「井波彫刻を世界に知らせよう」との思いから、昨年11月、井波彫刻の技を米国で紹介する巡回展が行われた。35日間にわたり、プリンストン、ニューヨーク、ワシントンD.C.、ロサンゼルス、マイアミ、サンフランシスコ、ホノルルの7都市・10会場を巡り、講演、実演、体験を通して日本の木彫刻の技を披露した。

各地の会場には多くの来場者が集まり、初めて目にする日本の伝統彫刻の精緻さや、その技を身につけるまでの長い徒弟修業の話に、熱心に耳を傾ける姿が見られた。実演では、ノミの音に引き込まれるように視線が集まり、質疑応答や体験希望が相次ぐなど、反応は予想を上回るものでした。



今回の巡回展を通じて明らかになったのは、井波彫刻が単なる地域の工芸にとどまらず、世界に向けて発信し得る高度な技術と思想を備えているという事実である。本稿では、その経緯と現地での反応、そして巡回展を通して見てきた課題と可能性について報告する。

① プリンストン大学生の問題意識から始まった挑戦

巡回展はどうして実現できたのか？それは、3年前、井波彫刻の卓越した技をインターネットで知り、「なぜこれほど高度な彫刻文化が世界に知られていないのか」と米国プリンストン大学の学生、カリム・サルジさん（当時18歳）が疑問に思ったことに始まります。その疑問を晴らすには、現地に来るしかない、大学から奨学金を得て、丁度2年前、井波を訪れ、多くの彫刻師と面談し、作品を見て、謎を解きほぐしたのです。井波彫刻の完成度の高さの裏には厳格な修業制度と彫刻師の生涯にわたる修練があることを知ったのです。同時に、主な収入源であった欄間注文が激減し、後継者が少ない厳しい現実を知りました。

もし井波彫刻が衰退することがあれば、それは地域の問題にとどまらず「人類の文化的損失になる」との危機感を抱き、大学に戻ってから1年間、何ができるか考えて



カリム・サルジさん



国会議事堂にもなったプリンストン大学のシンボル：ナッソーホール前で

いました。それには、米国にその素晴らしさを知らせて売れる市場をつくることではないかと考えたのです。そこに新田富山県知事のニューヨーク訪問予定を知った編集子が井波彫刻師に同行してもらう考えをサルジ氏に相談のところ、知事のプリンストン大学での講演も可能と考え、さらに全米を巡回して井波彫刻を披露する企画を立てたのです。

② プリンストン大学でのシンポジウム——巡回展の出発点

この企画を新田知事に提案したところ、米国一と評されるプリンストン大学での講演に同意くださり、事務的な手続きが進み、昨年11月同校を訪問されました。学生の発案による企画が、大学の公式行事となり、知事を迎えて開催されたのは極めて異例で、サルジさんの優秀な学生としての評価が背景にあったことが現地に行き分りました。

会場は、アインシュタインも講義を行った由緒ある階段教室。約120人が集まり、新田知事が英語で富山県の自然、産業、観光、伝統産業について講演されました。続いて、井波彫刻協同組合の花嶋理事長が、井波彫刻の歴史や技法の特色を紹介し、南部白雲氏が実演。下絵か

ら荒彫りへと工程が進み、ノミの音が響くと、聴衆の注目が集中しまし

た。質疑応答では、材質や制作期間、色の表現方法など質問が途切れず、白雲氏が「厳しく育ててもらったことが最大の財産です」と語ると、会場から大きな拍手が起こりました。



アインシュタイン教室でのプレゼンテーション

③ 全米7都市・10会場へ——巡回展の広がり

このシンポジウムを起点に、「井波彫刻」を紹介する米国巡回展が約1カ月にわたり行われた。

巡回展の実現には、彫刻師の参加・巡回先手配・資金調達が問題でした。巡回先手配はサルジさんが行い、彫刻師については、井波彫刻を発展させるこの機会を逃して

はならないと南部白雲さんが立ち上がった。資金調達・連絡・翻訳は編集子の役割となった。

巡回先は、サルジさんが大学卒業生のネットワークとインターネットでの働きかけにより、上記地図の7都市・10会場になりました。会場での進め方は、講演、実

演、体験の順で行いました。事前広報により、各地で満席やキャンセル待ちが相次いだ。体験コーナーでは、子

どもから大人まで列ができる所もあり、来場者の関心の高さがうかがえた。

④ 技の奥にあるもの——徒弟制度への共感

各地で強い印象を与えたのは、完成した作品の美しさだけではない。井波彫刻の技が、5年に及ぶ徒弟修業と、その後も生涯続く研鑽によって支えられている点である。200本を超えるノミを使い分け、研ぎ方一つで切れ味が変わる。木を「削る」のではなく「彫り出す」引き算だけの精緻な作業は、短期間の訓練では身につかない。しかも、薄い板から立体感溢れる作品が生み出され

る。その背景にある修業の積み重ねこそが、聴衆の深い共感を呼んだ。



白雲さんが制作した「日米の架け橋」ホワイトハウス、ゴールデンゲートブリッジ、白頭鷲

⑤ 徒弟制度を知る米国人研究者の評価

徒弟制度の重要性を認識する出来事があった。約25年前、井波に1年間滞在し、その半分を南部白雲工房で住み込み、徒弟制度を研究して論文にまとめた米国人研究者ジェレミー氏がプリンストンとニューヨークの会場に来てくれたのである。彼は、井波の徒弟制度が技の熟達を支える優れた仕組みであり、制度として完成度が高い

と評価していた。外部の視点からその価値が改めて確認されたことは、巡回展の大きな収穫でした。



白雲工房で研修するアサヤさん。ノミ研ぎだけ2週間。不条理に見えて大切と理解。

⑥ スミソニアンでの開催が示した意味

巡回展の節目となったのが、ワシントンD.C.のスミソニアン国立美術館（国立アジア美術館）での開催である。米国屈指の国立文化施設で井波彫刻が紹介されたことは名誉であると同時に、巡回展全体の格を一段引き上げた。定員約70人の会場は満席となり、立ち見も出た。体験コーナーでは子どもが真剣な表情でノミを握り、削った木片の香りを楽しみながら持ち帰る姿が見られた。美術館スタッフからも高い評価が寄せられた。



赤い色の女性（医師と判明）から次々と質問。木工に興味あり。注文方法の質問もあった。井波訪問希望も。小2ほどのお子さんが体験希望にすぐ挙手。

⑦ 各地での反応——多様な土地柄、多様な反応

ロサンゼルスでは100人を超える来場者で満席となり、質問と体験希望が相次いだ。マイアミでは日米協会主催のイベントとして実演が行われ、南米出身者を含む多様な参加者が集まり、カジュアルな雰囲気の中でも伝統技術として真剣に受け止められた。

サンフランシスコでは仏教教会やジャパソサイエティで開催され、ホノルルではアーティストが多く参加し、専門的な質問が最後まで続いた。



ロサンゼルス Japan House 館長と白雲さん、サルジさん⇒

⑧ 石の文化と木の文化——海外で見えた井波の希少性と後継者育成の重要性

巡回の合間に訪ねた、ニューヨークのメトロポリタン美術館やセントラル・ステーション、ワシントンD.C.の国会議事堂や記念建築群は、新興国アメリカが国家の威信をかけ、ギリシャ・ローマ風の新古典主義様式で建てた石造建築である。それらを支えたのは欧州から移住した石工職人の集団であった。現在では新たに石造建築が建てられることはなく、職人集団はほとんど残っていないという。一方で、築後100年以上を経た歴史的建造物は継続的な補修を必要とするため、現在も労働組合や公的の制度によって専門職人の育成が行われていると聞く。



米国国会議事堂（キャピトル）

今年は米国建国250年に当たるが、これは井波彫刻の歴史とも重なる節目の年である。井波では、社寺の重厚な欄間彫刻を民間住宅にも広めた先人の知恵によって欄間ブームが起こり、多くの彫刻師が育った。最盛期には300人を超える彫刻師がいたとされる。しかし、欄間需要の減少とともに彫刻師の数は減り続けている。

井波以外で木彫刻師が一定の規模の集団で技を継承している所は、海外にも見いだせない。井波の木彫刻師の集団が失われれば、社寺や城郭、祭礼彫刻などの維持・修復・新規制作が立ち行かなくなり、日本文化の基盤そのものが揺らぐことになる。実際、名古屋城本丸御殿や首里城正殿の復元は、井波彫刻師の集団があってこそ可能であった。

考えたくないことであるが、将来、後継者が途絶える事態を想定すればその深刻さは明らかである。一度失われた技と人材は、容易に取り戻すことができない。井波では後継者育成に向けた自助努力が続けられているものの、その重要性について、より広い社会的理解と制度的な支えを求めて良いのではないのでしょうか。後継者育成は、熟練彫刻師の高齢化との時間的競争でもあり、関係先への働きかけを含め、早急な対応が不可欠な段階にきています。



井波彫刻師40人がかりで復元した名古屋城本丸御殿の欄間

⑨ 市場としての第一歩、そして次の課題

今回の巡回展は、市場調査としての側面も持っている。実際に注文が入り、経済的に支えられなければ、技の継承は成り立たない。受注窓口、見積り体系、決済・契約、梱包・輸送・保険、検疫など、海外展開には制度設計という現実的な課題が数多く残されている。一方で、巡回展をきっかけに具体的な問い合わせが生まれようとしています。

その上で重要になるのが、井波彫刻のブランドをいかに守り、育てていくか。国内で一定の知名度はあっても、海外からの注文に応じていくにあたっては、長期的発想で高度な技術に見合った評価とイメージを保ち続ける姿勢が求められる。

⑩ アーティスト・イン・レジデンスという次の可能性

今回の米国巡回展は、井波彫刻の技と価値を海外に紹介する試みであったが、その過程で浮かび上がったのは、「井波を木彫刻の聖地とする」という、より中長期的な課題である。その文脈で注目されるのが、世界各地に普及しているアーティスト・イン・レジデンス（AIR）という考え方である。

AIRとは、国内外の芸術家や研究者が一定期間地域に滞在し、制作や研究、地域との交流を行う仕組みである。井波には、徒弟制度という他に例の少ない修業体系、100人規模の彫刻師集団、社寺彫刻という高度な実践の場がそろっており、木彫刻を学びたい海外の若者にとって極めて魅力的な環境が整っている。しかも、旅費・滞在費を負担し、指導料を低額でも自分が負担して学びに来るのが基本であるので、地元の負担は原則ない。但し、世界から有為な若者を誘致するには、公的補助があることが望ましい。

⑪ 後継者育成を支える仕組みづくりの課題

巡回展で繰り返し語られ、強い共感を得たのは、井波彫刻の技が5年の徒弟修業と、その後も続く生涯の研鑽によって支えられているというストーリー性にあった。一方で、その仕組みを維持する負担は、現在も主として個々の工房と師匠の努力に委ねられている。他地域に目を向けると、後継者育成を地域全体で支える制度を導入している例もある。岐阜県高山市では、伝統工芸の研修生に月額12万円、指導する工房に月額5万円を助成する制度が昨年、設けられた。この制度に魅かれて井波か

⑫ サルジさんの今後

巡回展は、サルジさんという類まれな外国の若者が情熱を傾けて井波彫刻を世界に知らせようと行動を起こしてくれて実現しました。彼がプリンストン大学の狭き門をくぐり、奨学金留学生になれたのは、実力があってのことですが、良き出会いのお陰であると言い、井波彫刻との出会いも見えない天の力のお陰だと常に謙虚です。今年

⑬ 終わりに

今回要した巡回費用は、東京倶楽部（鹿鳴館時代に生まれた社交倶楽部）から授与された国際文化交流助成200万円ではとても足りませんでしたが、ご理解くださった方々のご支援で賄うことができました。井波彫刻を米国に紹介したことが、表舞台に立つきっかけになってほしい。今回、得られた情報、成果は今後の発展に役立つようにせねばなりません。ご協力くださった方々に、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。以上

例えば、エルメスやグッチは、いずれも馬具づくりを出発点とする工房であった。馬車の時代が終わった後も、培ってきた技術と美意識、そしてブランドの品格を守りながら革製品へと展開し、今日の高級ブランドとしての地位を築いている。宣伝の仕方、顧客対応、包装や説明に至るまで、一流であることを自らに課し、「技にふさわしい扱いとは何か」を一貫して示してきた。

井波彫刻もまた、同じ道を目指すべきであろう。世界に向けて発信するとは、価値を認めてくれる相手に、確かなものを届け続けることである。国内で積み重ねてきたこと以上に海外向けには意識が必要になる。井波彫刻が長く信頼される存在として世界に根づいてもらいたい。

既に昨年は、5人の若者が海外から井波彫刻を習いに来ている。昨年4月には20か国の彫刻師がワールドウッドデーのイベントとして井波に滞在し、集団的なAIRが実践された。今年もドイツの職業大学から授業の一環として研修したいとの希望が来ている。井波が世界的に木彫刻の聖地となりうる素地はできている。



ワールドウッドデーに20ヶ国の彫刻師が研修



昨年に続いて今年も研修希望のインドネシア人のサトリオさん（左）ドイツでサトリオさんに井波彫刻の存在を教えたアサヤさん（右）

ら行先を変えた若者がいると聞く。この種の仕組みは、若者にも指導する親方・工房にとって大きな励みになり、後継者を増やすのに有効である。



白雲工房で住み込み修業中の田島さん・糸川さん（左）、弟子を卒業した吉本さん（中）、通いで修業中のアサヤさん（右）

5月に卒業後、井波彫刻を世界に売り出すことをしたいと引く手あまたの就職先を選ばないのは天の力ではありません。井波彫刻の持つ力だと思います。どうか井波彫刻が売れるようになるよう彼を応援してください。それが井波のためになるのですから。

高瀬医師が井波で在宅医療を始める

井波に、在宅医療の新しい灯がともります。
新聞でも報じられましたが、4月、井波に往診・訪問診療を専門とする診療所が開設されます。

手がけるのは、医師の高瀬義祥（たかせ・よしあき）さん（36）と、同じく医師である奥さまの愛（まな）さん（35）。南砺市では初めてとなる、在宅医療に特化した診療所です。

高瀬さんは埼玉県のご出身。富山大学医学部への進学を機に富山に来られ、南砺市民病院での初期研修を皮切りに、砺波医療圏の病院や診療所で地域医療に幅広く携わってきました。

総合診療専門医、家庭医療専門医、在宅医療専門医という三つの専門資格を持ち、「病気だけでなく、その人の暮らし全体を診る医療」を大切にしてきた医師です。

近年は在宅医療の現場で経験を重ねる中で、面積が広く山間部も多い南砺市において、「住み慣れた家で暮らし続けたい」という思いを支えるためには、訪問診療を安定して提供できる拠点の存在が欠かせないと感じるようになったといいます。



高瀬医師ご夫妻

そうした思いから、井波の古民家を改修し、診療と地域の拠点となる場をつくる決断をされました。現在は開設準備の真っ最中です。将来は、医学生や若い医師が地域医療を学ぶ場として活用することも視野に入れ、南砺の医療を担う人材を育てていきたいと考えておられます。

砺波のご自宅で、4歳と1歳の二人の男の子の子育てに奮闘しながら、釣りや料理、地域行事にも顔を出すという高瀬さんご夫妻。

南砺市民病院で地域医療に携わってきた背景もあり、地域の暮らしに自然に溶け込む存在です。

地域に暮らす人々の生活を支える医療の拠点が井波に生まれることは、住民にとって大きな安心につながります。高い志を持ち、暮らしに寄り添う医療を実践しようとする若い医師ご夫妻の誕生を、地域として温かく迎え、応援していきたいものです。

※高瀬医師ご夫妻の思いや、在宅医療に取り組む背景については、Note「いなもんジャーナル」（井波の空き家活用を紹介するマガジン）で詳しく紹介されています。ぜひQRコードからご覧ください。



六角堂橋の診療所となる古民家の前で



編集後記

▽今回は、ひと月遅れで「井波彫刻、米国巡回展の特集号」となりました。

▽米国の巡回して、いくつか印象に残ったことがありました。

- まず物価が日本の3-4倍高いと感じます。外食は控えめに。量が多いので白雲さんと分け合って丁度良い。朝食は、彫刻師変じて調理師となった白雲さんが手作り。スーパーの食材も高いが、日本の味は貴重で格別。白雲さんは湯船がない、ウォシュレットがないと日本を懐かしむ。確かに故郷の山はありがたきかな。
- 次に、ロボタクシーです。サンフランシスコやロサンゼルス、ワシントン DC の街中を、運転手のいないタクシーがたくさん走っていました。実際に乗ってみると、指定した場所から目的地まで、交通の流れを妨げることなく実にスムーズに走ります。ミリ単位の精密な地図を使い、走行中も情報を更新しているとのことでした。事故が減るだろうと言われています。無人運転が普及すれば、社会の姿は大きく変わります。日本がこの流れに乗り遅れていると気がかりです。
- もう一つ気になったのは、行く先々で日本人の姿を見かけなくなったことです。かつては空港や繁華街で多くの日本人に出会ったものですが、現地に住む日本人に聞いても、最近は確かに少なくなっているそうです。円安の影響もあるのでしょうか、若者が減っているとのことでした。一方で、ニューヨークでは韓国やアジアの若者が目立ちました。日本料理店は増えていますが、実際には韓国や中国の経営で、日本人が雇われている例も少なくないと聞きました。
- シリコンバレーでは、経営のトップに立つ方から「日本人は以前ほど働かなくなった」という声も耳にしました。勤勉さや忍耐、思いやりといった、日本人の強みとされてきた心構えが弱まっているのではないかと。海外で多国籍の人々を見てきた方の言葉だけに、考えさせられました。井波には勤勉さがあるから工場を移さないと言われたこともあるとか。彫刻の技も勤勉さと相通じる。その良さは変わってほしくない。
- 日本の良さが海外で評価され、訪日客が増えているのも事実です。井波でも、彫刻の素晴らしさや静かな町並みが知られ、外国人の姿が目立つようになってきました。通訳ガイドさんから受け入れ設備とサービスの改善を望まれています。受け入れ改善なくして、好循環は生まれません。ボランティアの尽力には限りがあります。

▽クルーズ船の伏木寄港は今年8隻予定。金沢港は昨年50隻受入れ。ボランティアの皆さんが瑞泉寺で彫刻実演と体験を提供しクルーズ船客を歓迎したことが旅行会社を動かし、ビジネスとして歓迎手配を求められています。さらに、4月には金沢寄港のクルーズ船から初めて井波にやって来ます。まだ3隻ですが、もっと増えるでしょう。

▽井波で新たに飲食店が2店開設予定、宿泊所も増えます。夜の賑わいにもプラスになります。

▽東京井波会への参加、大歓迎。ご希望の方は次に一報ください。

連絡先（電話）090-1532-0717 kthknkjm@gmail.com 中嶋勝彦（編集者）

▽右のQRコードから本号もバックナンバーもご覧いただけます。





南砺市
NANTO CITY

なんと 議会だより

第85号

令和8年1月25日発行



— おもな内容 —

- ◆常任委員会報告…… P4～
- ◆12月会議代表・一般質問…… P7～
- ◆高校生との意見交換会 **P15**
南砺平高校と南砺福野高校の皆さんと
意見交換をしました！
- ◆市民の声
高校生にインタビュー…… P16

南砺の未来は
私たちの手で

南砺市議会

検索



12月会議 物価高対応はこれ！

学校給食費軽減対策事業負担金

965万円

物価高騰による学校給食の食材費の負担金不足分を増額補正するもの



学校給食

物価高対応子育て応援手当給付金

1億1,445万円

物価高の影響を強く受けている子育て世帯に手当を支給するもの

支給対象：児童手当支給対象者（R7.9.30時点）
を養育する父母等

給付額：こども一人あたり2万円（一律）



子育て関連施設への光熱水費等高騰対策支援事業

39万円

物価高騰の影響を受ける市内の放課後児童クラブ・とやまっ子さんさん広場、民間保育施設等及び認可外保育施設に対し、光熱費高騰分を支援するもの



放課後児童クラブ

介護サービス事業所等物価高騰対策支援補助金

1,395万円

物価高騰の影響を受けながら、介護サービス等の安定的な提供を継続している介護サービス事業所に必要な光熱費、車両燃料費及び食材料費を支援するもの



介護サービス事業所

障がい福祉サービス事業所等物価高騰対策支援補助金

291万円

障がい福祉サービス事業所等に対して、サービス提供に必要な光熱水費、及び車両燃料費、食材料費を支援するもの



障がい福祉サービス事業所

写真提供：
社会福祉法人マーシ園

7年度 一般会計補正予算

4億7,578万円を可決

議案32件、議員提出議案2件、人事案件2件を可決しました。

※議員別の賛否状況は、市議会ホームページをご覧ください。

12月会議

補正予算関係（主な事業）

人材共創施設教育活動支援事業 **2,000 万円**

旧南砺福光高校を活用した青池学園の教育活動のスタートアップを支援するもの
⇒詳細は5ページへ

空き家・空き店舗利用促進事業 **644 万円**

新たに再生事業7件と経営補助事業1件の増額をするもの
⇒詳細は4ページへ

妊婦のための支援給付金 **365 万円**

流産等の場合も支給対象となったため、増額補正するもの



条例関係（主なもの）

南砺市病院事業使用料及び手数料条例の全部改正

特別室料や文書料等の使用料を改正するもの
⇒詳細は4ページへ

乳児等通園支援事業に関する条例の制定

「こども誰でも通園制度」対応のため、設備や運営の基準を定めるもの
⇒詳細は5ページへ

南砺市桜ヶ池クアガーデン条例の一部改正

物価高による管理費上昇により利用料の上限額を改定するもの
宿泊料(1泊1室) 110,000円、会議室利用料(1時間) 11,000円、
入湯料(1回) 1,200円、プール利用料(1回) 3,500円

財産の減額貸付

イオックス・ヴァルト **年額 237,000 円**

貸付相手：
イオックスヴァルト企業組合



国民宿舎「五箇山荘」 **年額 200,200 円**

貸付相手：株式会社五箇山企画

利賀活性化施設(利賀瞑想の郷) **年額 202,160 円**

個人へ貸付



財産の無償貸付

喜知屋（福野文化創造センター分館）

個人へ貸付

高瀬コミュニティ施設（あずまだち高瀬）

貸付相手：株式会社 tail-west

たいらマウンテンスクール

貸付相手：一般財団法人五箇山和紙の里

たいらマウンテンスクール体育館

個人へ貸付



議員提出議案

議会の権限事項中市長の専決処分事項の指定についての一部改正

地方自治法第180条第1項の規定による「議会の権限事項中市長の専決処分事項の指定」の一部改正を行うもの

自治体病院の経営改善の支援と地域医療の充実に関する意見書

診療報酬の大幅引き上げと追加的財政支援を要望するもの

請 願

再審法改正を、国会主導で、早急に成立させることを求める意見書採択の請願

継続審査

人事案件（同意）

監査委員（議会選出）	新任	片岸	博
南砺市教育委員会委員の任命	新任	山田	誠

財産の処分（12月第2回会議）

南砺市才川七地内 13ヘクタール 189,275,980円
契約相手方：GST Mammoth 1-1 合同会社

6年度決算

一般会計、6特別会計、3企業会計を認定しました。

10月会議（10/9）

民生経済

常任委員会

12月15日開催



市内2病院

南砺市病院事業使用料及び 手数料条例の全部改正

改正の趣旨

市立病院及び市立診療所における特別室料など使用料等について、今般の物価高騰を踏まえ改正を行う。

主な意見

使用料及び手数料条例の内容を市民にわかりやすく告知・掲示を行い、窓口での丁寧な対応を求めた。

改正に至った背景は

A平成16年度以来、大きな料金改定が行われていないため、病院収支の悪化が顕著になってきた。そのため病院事業の経営改善を目的に、全部改正を行う。



録画配信中

迷惑電話防止機能付電話機等購入補助金

30万円



補正の趣旨

特殊詐欺等による被害の未然防止等を目的とし、事業に対する要望が多く、増額補正するもの。

主な意見

今回30件の増額補正である。被害の未然防止等につながるようしっかりとした普及啓発を求めた。

次年度以降の迷惑電話防止機能付電話機等購入の対応は

A市ホームページに掲載するほか、防犯協会及びシニアクラブ、地域づくり協議会等に情報提供し、普及を図っていききたい。



録画配信中

空き家・空き店舗利用促進事業補助金

644万円



店舗に活用された空き家
福光3件、井波3件、福野1件
各地域からの申請見込み

補正の趣旨

空き家・空き店舗利用促進事業補助金について、市内各地で新たな申請が見込まれるため、補正するもの。

主な意見

空き家・空き店舗の活用を積極的に支援し、市内商業の活性化及び地域内循環を図るよう求めた。

今後の取り組みは

A今後は事業所に対し事業継承アンケートを実施し、商工会等の支援機関と連携し、空き店舗を増やさない取り組みを強化していききたい。



録画配信中

総務文教

常任委員会

12月16日開催



井波にじいろ保育園

乳児等通園支援事業に関する条例の制定

制定の趣旨

新たに創設される、「こども誰でも通園制度」に対応するため、設備や運営に関する基準、許認可（私立）について定める。

主な意見

制度の周知や、日々の受入れ可能人数の公開など、十分な情報が保護者へ行き届くよう求めた。

Q受入れ施設の計画は

A現在、公立保育園では医療的ケア児の受入れをはじめ、すべての特別保育を実施している井波にじいろ保育園を予定している。



録画配信中

人材共創施設教育活動支援事業補助金

2,000万円



旧南砺福光高校

補正の趣旨

人材共創事業の推進を図る目的として、青池学園の教育活動のスタートアップに対し支援を行うもの。

主な意見

地域との交流を通じて、賑わいや活力を生み出し、人材育成の拠点として推進するよう求めた。

Q今後の生徒数の見込みは

A来年度からキャリアデザインコースを設置する予定である。将来的には200人程度の生徒数を目標としている。



録画配信中

債務負担行為：福野小学校スティールドラム購入

147万円



福野小学校にあるスティールドラム

設定の趣旨

更新するには一定の期間（年度をまたぐ）を要するため。

主な意見

市内の小・中学校では、地域に根差した活動を通じて育成に努めていることから、計画的な更新を求めた。

Qスティールドラム納入までの期間は

Aトリニダード・トバゴ共和国で受注生産され、輸送が限られた船便経由となり、発注から納入までに一定の期間を要する。



録画配信中

※債務負担行為とは…次年度以降に向けた準備予算のこと

議会の新しい体制が 決定しました



石川 弘 議長



竹田秀人 副議長

市が誕生して 20 年を経過しましたが、豊かな自然、伝統ある歴史と文化など、南砺の魅力磨きあげながら、さらに進化していかなければなりません。郷土南砺をずっと想い続けられる、誇れる南砺であり続けられるよう、議会からの提言を行っていくとともに、市の活性化と市民の福祉向上を目指し、市民に開かれた親しみのある議会として研鑽に努めてまいります。

議会を傍聴しませんか



誰でも見たり、 聴いたりできるんです

本会議の傍聴(63 席、車いす可)

南砺市役所 5 階 傍聴席入口で受付(住所、氏名、年齢の記載)を済ませ、傍聴席へお入りください。

委員会・全員協議会の傍聴(定員 7 人)

会議が始まる前に傍聴許可申請書をご提出ください。



南砺市議会新体制

議長	石川 弘
副議長	竹田 秀人
監査委員	片岸 博

委員会名	議員名 ◎委員長○副委員長	
総務文教 常任委員会 (8 人)	◎山田 清志	○水口 秀治
	才川 昌一	榊 祐人
	竹田 秀人	齋藤 幸江
	井瀨 信雄	大河原晴子
民生経済 常任委員会 (8 人)	◎中段 晴伸	○蓮沼 晃一
	片岸 博	山本 勝徳
	中島 満	畠中 伸一
	川原 忠史	石村 修子
議会運営 委員会 (6 人)	◎榊 祐人	○才川 昌一
	蓮沼 晃一	水口 秀治
	中段 晴伸	山田 清志
広報広聴 特別委員会 (6 人)	◎齋藤 幸江	○蓮沼 晃一
	水口 秀治	竹田 秀人
	井瀨 信雄	大河原晴子
議会改革 特別委員会 理事(6 人)	◎水口 秀治	○川原 忠史
	才川 昌一	山本 勝徳
	中段 晴伸	齋藤 幸江
決算予算 特別委員会 理事(7 人)	◎山本 勝徳	○畠中 伸一
	才川 昌一	榊 祐人
	中段 晴伸	山田 清志
	井瀨 信雄	
医療のあり 方検討特別 委員会 理事(6 人)	◎石川 弘	○山本 勝徳
	片岸 博	才川 昌一
	畠中 伸一	山田 清志



代表質問

自民クラブ さいかわよしかず



録画配信中

8年度当初予算編成方針は

答弁

成長投資拡大に向けた環境整備を進め
「稼ぐ機会」の創出に取り組む

議員 8年度当初予算編成方針は

市長 ふるさと納税やクラウドファンディング、ネーミングライツなど「稼ぐ」仕組みなどにより、自主財源の確保を図り、「若者に選ばれるまち」を目指し、「未来に向けた投資の拡大」を掲げ、成長投資拡大に向けた環境整備を進め「稼ぐ機会」の創出に取り組む。

議員 庁舎統合に伴う跡地活用の検討は

市長 地域提案の事業化が困難な地域では、市が積極的に関わり対応方針を提案し、協議を動かす。

議員 市職員のストレス対策や職場環境改善策は

市長 関係機関や産業医との連携を一層強化し、メンタルヘルス研修の内容を見直すなど、予防的観点からのケアを充実させる。

議員 二地域居住の現状と取組方針は

市長 行政と中間支援組織、民間事業者、大学とで共同体を組み、二地域居住者を受け入れる組織や運営人材など、二地域居住の課題の洗い出しを行う予定。その中で、「仮称特定居住促進協議会」の組織について8年度中に検討する。

議員 上下水道料金改定の内容と今後のスケジュールは

市長 施設の適切な維持管理や経費削減などを図り、上水道料金を平均28%、下水道料金を51.8%、引き上げる条例改正案を8年9月会議に上程し、システム改修などの必要な手続きを進めたい。

議員 鳥獣害対策の市の対応方針は

市長 イノシシ対策では、鋼製侵入防止柵へのニーズを把握し、費用対効果も踏まえ、県や関係機関と連携し、検討を進める。

クマ対策では、捕獲体制を強化し、AIカメラや捕獲アプリなどのDXを導入し、ガバメントハンター育成制度を検討する。

議員 病院改革の現状は

市長 両病院において、必要となる既存設備や医療機器の更新など通常の投資さえ危ぶまれる状況になりつつあり、また、医師の働き方改革に伴い、大学医局からの派遣数の減少や、労働力人口の減少に伴う新規看護師のなり手不足なども課題である。

市立2病院では急性期医療を行っているが、計画的な「予定手術」が基本で、今後は「高齢者救急・地域急性期機能」が必要となる。

今後、医療の現状や市が考える方向性の内容を、市の広報・ホームページを通じてお知らせし、「病院改革」について、市民の皆様にも説明する機会を改めて設けたい。



自民クラブ かわはらただし

第2次市公共施設再編計画（改訂版）の見直しは

答弁

長期再編対象施設の
早期かつ確実な推進を図る



録画
配信中

議員 「後期まちづくりプラン」の2060年目標人口25,000人への見直しによる公共施設再編計画の見直しの考えは

市長 現行計画に基づき、長期再編対象施設の早期かつ確実な推進を図る。

議員 予算付けされたイベント貸出用遊具購入等の執行状況は

政策部長 発注・一部納入済みで、生涯学習フェス等のイベント会場で設置し、憩いの場となり販わっている。

議員 小規模な屋内遊び場を「維持しない」とした公共施設活用による整備の考えは

政策部長 再編計画で「維持する」とされた施設において機能見直しや強化、複合化の可能性について、国の財政措置の活用も含め、多角的に検討する。



購入された貸出用遊具



自民クラブ はす めま こう いち
蓮 沼 晃 一

市の今後の観光戦略は

答弁

市全域をエリアとした観光動線の
整備と情報発信を強化していく



録画
配信中

議員 市の今後の観光戦略は

市長 観光協会や商工会との連携強化、観光エリアマネジメントの視点を取り入れた計画の策定を進めていく。プレイヤーパークを起点とした周遊観光を想定し、市全域をエリアとした観光動線の整備と情報発信を強化していく。

議員 消防団活動の充実は

総務部長 団員確保と技術向上を目的として、今年度から準中型免許取得補助制度を導入し、

若手団員の確保を促進し、将来にわたる消防団の活動力強化を図る。団員が安心して活動できるよう、現場の声を反映し、消防団のさらなる活性化と処遇改善に努めていく。



市消防操法大会



自民クラブ 井 淵 信 雄

なんとタウンミーティングの今後の対応は

答弁

次年度以降は、
どのような形が望ましいか検討する



録画
配信中

議員 次年度以降のなんとタウンミーティングは、どのような計画があるか

市長 どのような形が望ましいかも検討しながら、内容や回数、会場などを工夫し、より幅広い層の市民の皆様と直接対話できる機会を増やしていく。

直接対話の場と多様な意見収集手段を活用し、多角的な視点から市民ニーズを把握することで、市政への反映を目指す。

議員 平中学校の跡地の活用は

教育部長 南砺平高等学校の校舎としての活用が実現できるよう、引き続き県教育委員会に強く要望していく。



平会場（春光荘）



自民クラブ やま だ きよ し 山 田 清 志

若者の社会転出増加についての分析は

答弁

アンケートでは
「働きたい場所が少ない」など



録画
配信中

議員 若者の純移動率が反転しない原因の分析や、社会増減の改善に向けた対策は

政策部長 転出者アンケートでは、商業施設や娯楽施設、生活の利便性が劣ると感じられているほか、働きたい場所が少ないといったことが転出の理由として挙げられている。

若者が魅力とを感じる企業誘致に取り組み、住環境の整備や生活環境などを含めたインナープロモーションが重要と考えている。

議員 民間賃貸住宅の建設に対する補助金に対して、申請や問い合わせの状況は

協働部長 7年度の申請は福野地域など2件を予定しており、8年度以降としても多数の相談を受けている。



企業誘致が期待される城端 SIC 周辺



自民クラブ 竹田 秀人

通所型介護サービスB事業の経済的支援強化を

答弁

補助単価の見直しが必要と考えている



録画
配信中

議員 通所型介護サービスB事業はスタートして10年経過するが、10地域での展開に留まっている。当初からの補助単価が変わらず厳しい経営状況にあることから、人的支援及び経済的支援を図れ

ケア部長 この事業は重要な事業と捉えており人的支援については意見交換会を実施し事業につなげる機会としている。経済的支援については補助単価の見直しが必要と考え、新年度予算に反映できるよう協議を進める。

議員 松村謙三記念会館は公共施設再編計画において維持・更新施設であるが法定耐用年数が経過しているにもかかわらず整備されていない。松村謙三記念会館の整備を進めよ

教育部長 現在の場所での複合施設の建設または空き校舎を活用するか検討を開始する。



松村謙三記念会館



自民クラブ 齋藤 幸江

「保育所等職員による虐待の通報義務等」の追加は

答弁

一部改正は児童虐待等の根絶を目指している



録画
配信中

議員 「保育所等職員による虐待の通報義務等」の一部改正について所見は

副市長 児童養護施設等と同様に保育所や幼稚園、放課後児童クラブ、児童館等、保護者と離れた環境下で児童に保育や居場所の提供や支援を行う施設の職員による虐待が発見された場合、市への通報義務の仕組みが設けられた。市の対応マニュアルに児童と関わる施設の職員の虐待通報義務を加える予定である。

議員 クマ対策の現状と対策は

戦略部長 県内の捕獲頭数は現在29頭で、上限は170頭で県に許可をとり捕獲している。クマ追い払いに有効な高周波発生機器の増設と、早期発見や効果的な追い払い手段として赤外線装置付きドローン導入も検討している。



赤外線装置付きドローン



いろいろの会 おおかわら せい こ
大河原 晴 子

平日の部活動は放課後に活動できる環境の維持を

答弁

特認校制度への理解に努め、
平日の部活動指導員の確保に取り組む



録画
配信中

議員 部活動の地域移行によって保護者の送迎の負担が大きくなっている。平日の活動については、生徒の選択肢を今以上に狭めず、放課後の時間に活動できる環境の維持を

教育部長 特認校制度で希望する部活動のある学校に入学し活動に取り組む生徒がいる。今



多様な部活動

後も特認校制度への理解に努める。また、8年度以降、拠点校での部活動が平日のみとな

ることから、平日の指導が可能な部活動指導員の確保にできる限り取り組む。

議員 公共施設の集約化・複合化も検討し、城端線を中心とした市全体のデザインを検討していく時期にきているのでは

政策部長 次期総合計画の検討や都市計画マスタープランの見直しなどが控えており、市全体のデザインの視点も参考に、若者たちが参画し未来に希望が持てるまちの実現に向けて取り組む。



自民クラブ ちゅう だん はる のぶ
中 段 晴 伸

既存の宿泊施設への支援は

答弁

施設の魅力を向上させるリノベーションや
部屋数増加などの改修は助成金の対象



録画
配信中

議員 大人数で宿泊できる施設がない市内に大型宿泊施設ができた場合、既存の宿泊施設に対する支援は

戦略部長 11月に創設した「南砺市宿泊施設立地促進助成金」は、固定資産投資額が2千万円以上の新規立地や既存施設の改修費用として助成するもの、既存施設の設備更新は対象にしていないが、既存施設の魅力を向上させるための施設のリノベーションや部屋数増加などの改修は助成金の対象。

新規施設立地による既存宿泊施設の影響については、それぞれの魅力や強みなどの個性があり、新規立地施設とは競合しないと考えている。



既存の市内宿泊施設



日本共産党 なか 中 しま 島 みつる 満

財政の本質に反するふるさと納税の廃止を

答弁 制度を活用し、共感者を増やしたい



録画
配信中

議員 ふるさと納税は、①地域間の財政力の調整をかく乱する。②個人間の再配分に逆行。③集められた財源を無駄にする。税や財源の本質に反する。企業版ふるさと納税も廃止すべきと考えるがどうか

戦略部長 ふるさと納税制度を活用し、本市のアイデンティティを示し、施策への共感者を増やし、更に関係人口等良好な結びつきを増やしていきたい。

議員 国に「公契約法」の制定を求めると

ともに、市としても「公契約条例」を制定し、建設労働者の環境改善をはかるように

総務部長 国は、労働環境の改善に取り組んでおり、市は公共工事積算単価を用い、低入札価格調査制度を導入している。現時点で法の要請、条例の制定は考えていない。



公共工事



smile の会 いし 石 むら 村 しゅう 修 こ 子

南砺市の市の花・市の木・市の花木の再検討は

答弁 市民の声や機運の高まった際に、再検討を行う必要があると考える



録画
配信中

議員 南砺市の市の花・市の木・市の花木の再検討は

政策部長 市の花・市の木が未設定なのは、地域の多様性を尊重してきたためであるが、今後、市民の声が広く集まり、機運が高まった場合には、再検討を行う必要があると考える。

議員 汚水処理の最適化と将来計画の再設計は

整備部長 従来までの市設置型の浄化槽整備に加え、市民による合併浄化槽の設置や維持管

理に対する補助制度の創設についても検討したい。

新たに下水道整備が必要となる場合には、それぞれの地域特性に応じた最適な処理方法を検討するなど、市全域における地域の実情に合った持続可能な汚水処理システムの構築を進めていく。





自民クラブ 畠 中 伸 一

市の人手不足の現状は

答弁

採用難と離職増のため
市民サービスの低下を危惧



録画
配信中

議員 市は離職防止や採用試験の応募者増加をめざし、8年1月から窓口受付時間の変更を試行実施するが、人手不足の現状は

総務部長 学生の都市部流出が著しく、地方自治体は人材確保が困難になっている。また、併願者が多く優秀な人材の獲得競争が激化している。自己都合の離職者は2年13人、6年26人と増加傾向にあることから、組織全体の運営に影響を及ぼし、市民サービスの低下リスクを危惧している。

議員 ChatGPTのような生成AIを組織的に活用しているか

戦略部長 昨年度から本格導入し、文書作成・議事録作成要約・アイデア出し・事務効率化などに利用し、時間短縮と職員の負担軽減に大きな効果を上げている。



サービス低下が懸念される窓口業務



自民クラブ 片 岸 博

後期まちづくりプランのポイントは

答弁

企業誘致そして地域資源に磨きをかけ
市全体で利益を上げる



録画
配信中

議員 企業誘致の現状と今後の取り組みは

市長 現在の誘致活動は、本年は「プレイアースパーク」「aremoa(アレモア)」の事業発表を得た。また、城端スマートIC周辺に産業用地を造成し、関連産業への立地ニーズ調査を実施し誘致活動に取り組む。

議員 宿泊施設の誘致の今後の取り組みは

市長 本市を訪れる観光客は年間約300万人で、今後100万人以上の増加を見込む。宿泊者数は年間6.5万人であり、大型バス

2台以上の宿泊できる100室以上の施設を誘致し、年間10万人以上の宿泊者を目指す。

議員 水素生成と発電プラント建設は

市長 現水素生成実証事業について、(株)BIOTECHWORKS-H2と、資源循環社会の実現を共創する目的で連携協定を締結。

設計、施工、運営等の参画企業による南砺プロジェクトチームを結成する等、資金面、体制面での準備を整える。

事業評価・決算審査

6年度事業の中から選定した8事業について、決算予算特別委員会の中に設置した2部会で事業評価を行いました。
評価結果は以下のとおりです。

6年度事業	今後の方向性
若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金	拡 充
観光動向調査	
児童精神科・診療内科運営事業	
応援市民運営事業	
防災アプリシステム事業	
地域部活動体制整備事業	
未来ミーティング	改善し継続
高齢者運転免許自主返納支援事業	見直しの上縮小

6年度予算の執行状況が適正であったか検証しました。主な決算審査内容は以下のとおりです。

民生経済部会 上下水道料金については、使用水量の少ない世帯に配慮した料金体系に見直す必要がある。上下水道は企業会計であり、一般会計からのさらなる繰り入れも検討されたい。

総務文教部会 小中学校のふるさと教育については、講師謝礼の単価以外は教育委員会の関与が希薄である。地域の伝統や伝承、ふるさとの良さを伝える等、児童生徒が地域に愛着や誇りを持つことにつながる教育を行うためには、外部講師の選定や取組内容について統一的な考え方が必要である。

議会報告会&意見交換会

11月11日

福野会場 全体会 (KAWADAアリーナ福野)



参加者意見 現在、教員の働き方改革で部活動は30～40分しかできない。中学校で競技離れが進むのではないかと。企業への補助による指導者の確保や子どもたちの移動手段など環境を整えてほしい。

参加者意見 ファブリカ跡地の計画は住民からの反対・批判が多かった。市の現状を分かった上で提案されているのか検証してほしい。

参加者意見 企業誘致が必要。駅を中心にまちづくりを進めるべき。

平会場 全体会 (春光荘)



参加者意見 小、中学生の放課後の居場所をもっと充実してもらいたい。金銭面、人材面で市の援助を強くお願いしたい。

参加者意見 若者の7割は、地元に戻りたいと思っている。子育て支援や企業誘致などをより一層進めてほしい。

参加者意見 県道に比べ、市道の整備がおろそかになっている。舗装の未整備や劣化、除雪の不便さなどが問題である。

実施報告は
こちら→



次回の議会報告会

- 福光会場 福光福祉会館
- 井口会場 いのくち椿館

※詳しくは配布チラシをご覧ください。

令和8年
2月9日(月)
午後7時～



南砺福野高校5人、南砺平高校3人が議会傍聴と意見交換会に参加しました。



現代の高校生はなに思う？

高校生との 意見交換会

12月11日



高校生活での困りごと

- ・なんバスの運行本数が少ない。土日の運行がない。
- ・南砺平高校前の坂道に照明がなく、暗くなると足を滑らせてしまう。照明を付けてほしい。
- ・福野駅舎内にストーブが一基しかなく、冬は吹きさらし状態になる。防寒対策をしてほしい。

魅力的な南砺市にするためには

- ・南砺市の食材（五箇山豆腐、里いも等）を活かし、外国人向けのビーガンメニューを開発し、カフェ等で販売してほしい。
- ・インフルエンサーやユーチューバーを発掘し、SNSやInstagram等で市の魅力を発信してほしい。
- ・南砺市の伝統文化を体験できる文化観光を振興してほしい。

将来の夢や進路について

- ・将来南砺市で就職したいが、市内で知っている企業が少ない。中学生の内から企業を見学できる機会を作してほしい。
- ・企業見学ツアーで市内企業に魅力を感じた。土日などで市内企業を見学する機会を増やし、地元企業の素晴らしさを体感し、将来地元に戻る夢を実現させてほしい。

フリートーク

- ・スキヤキミーツザワールドでボランティアをして感動した。市内各地のイベントに高校生スタッフが関われる機会を作っていきたい。
- ・南砺市の発信力が弱い気がする。私たち中高生を利用して、いろんな媒体で、広く発信してほしい。
- ・市内各地にある魅力ある伝統芸能を、もっと活かしてほしい。



つじもと たいが 大雅さん (南砺福野)

①自然が豊かで四季があるところ
②日本語教師



くぼ みなみ 久保美衣菜さん (南砺福野)

①地域の人が挨拶してくれる温かさ
②豊かな生活をする



よしはら あい 吉原 愛結さん (南砺福野)

①何を食べてもおいしいところ!!
②世界を飛び回る仕事人になること



あさひ まみ 旭 真優さん (南砺福野)

①美味しい郷土料理
②都会で安定した職に就く

市民の声

高校生との意見交換会に参加した高校生にインタビューしました。

①南砺市の好きなところは
②将来の夢は



よしむら かな 吉村 結花さん (南砺福野)

①海外との交流があるところ
②家庭科の教師



たかはし あんな 高橋 杏奈さん (南砺平)

①四季の美しい変化を感じられるところ
②人を助ける職業



さわだ なつき 澤田 匠さん (南砺平)

①多種多様な文化が受け継がれているところ
②南砺市の伝統文化を守る企業を起ち上げること



みやざき だいき 宮崎 大輔さん (南砺平)

①伝統文化がたくさん残っているところ
②南砺市内で仕事をしたい

編集後記

メンバーを一新し、広報広聴特別委員会がスタートしました。新しいアイデアで皆さんの意見を反映してまいります。
(齋藤委員長記)



2月会議の日程(予定)

議会を傍聴しよう! インターネットで見よう!

2月26日(木)～3月23日(月)	2月26日(木)	10:00	本会議初日
	3月5日(木)	9:30	本会議一般質問
	6日(金)	9:30	本会議一般質問
	9日(月)	9:30	決算予算特別委員会(個別質問)
	10日(火)	9:30	決算予算特別委員会(個別質問)
	11日(水)	9:00	民生経済常任委員会
	//	終了後	決算予算特別委員会(民生経済部会)
	13日(金)	9:00	総務文教常任委員会
	//	終了後	決算予算特別委員会(総務文教部会)
	19日(木)	9:00	決算予算特別委員会
	//	終了後	全員協議会
	23日(月)	15:30	本会議最終日

◆会議のインターネット配信をしています。
市議会ホームページ
「本会議・委員会中継」
からもご覧いただけます。



脱出島絶対王者!!

あばれる君

直伝

熱血授業

inなんと

- 🔥 挑戦する大切さ
- 🔥 サバイバルから学んだこと
- 🔥 家族の大切さ

多くの少年少女に
伝えたいトークショー

当日 抽選で
参加コーナー
あり!

2026

3.14 土

開場 13:30

開演 14:00

ミントウ井波文化ホール メモリアホール

※未就学児童のご入場はご遠慮いただきます。 ※膝上までのご鑑賞はご遠慮ください。



MC: クマムシ

全席指定

一般 2,500円

高校生以下 1,000円

(当日 一般 3,000円/高校生以下 1,500円)

チケット発売日

ジョイント会員先行発売 12月27日(土) 9:00 一般発売 2026年 1月12日(祝) 9:00

※ジョイント会員特典 1公演2枚まで10%off

※各プレイガイドによって販売開始時刻が異なる場合がございます。

■プレイガイド ミントウ井波文化ホール、なんとエナジー文化創造センター ヘリオス、城端伝統芸能会館「じょうはな座」、チケットぴあ(Pコード:659268)、チケットforLINE

お問い合わせ ミントウ井波文化ホール(南砺市井波総合文化センター) ☎0763-82-5885

主催 ミントウ井波文化ホール(南砺市井波総合文化センター) 指定管理者オカベ・ホクテ共同体

協力 オフセンター

後援 北日本新聞社、となみ衛星通信テレビ、エフエムとなみ、南砺市教育委員会



チケットぴあ



チケットforLINE